

# あしや わがまち トピックス



昨年の様子

## 第7回あしや保健福祉フェア このまちがすき～つながりをひろげよう～

- 日時 7月23日(土)午前10時～午後5時
  - 会場 はなみずき芦屋(保健福祉センター・木口記念会館・あしや温泉)  
※お車でのご来場はお控えください
  - 内容
    - ◆エンタランスコンサートpart72
    - ◆活動報告・表彰「地域福祉アクションアワードvol2」
    - ◆ミニ講話「つくろう つながろう 子どもの応援団」
    - ◆ファミリースポーツ・しょうがい者とのスポーツ交流ひろば
    - ◆福祉相談コーナー「フードドライブ」「権利擁護なんでも相談」
    - ◆保健センターの催し「げんき度健診」「健康増進コーナー」「食育推進コーナー」
    - ◆介護予防センター健康セミナー「からだには、自然に『ええ感じ』になる力がある」
    - ◆子育て支援センターの催し「むくむく自由あそび」
    - ◆ボランティア活動センターの催し「ポスター発表」「体験コーナー」
    - ◆福祉サービス合同説明会「芦屋市でのがんばる生活応援しますっ!!」
    - ◆足湯の催し「グリーンカーテンのススメ」
    - ◆災害備蓄品の試食・防災グッズ展示
    - ◆市立幼稚園パネル展・市立保育所パネル展
    - ◆成年後見制度Q & A デスク
    - ◆ゲーム・屋台・授産品販売・休憩軽食コーナー・スタンプラリー・手作り工作コーナーほか
- ※保健福祉フェアの開催に伴い、保健福祉センター開館時間が変わります。  
7月22日(金)午前9時～午後5時30分・7月23日(土)午前10時～午後5時
- 問い合わせ 福祉センター(☎31-0612)

## 国指定史跡会下山遺跡の発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念事業 会下山遺跡関連展示会・弥生時代の芦屋

- 会下山遺跡を含む市内の弥生時代の出土品等を展示します。この夏、弥生時代の芦屋にタイムスリップしてみませんか？
- 日時 7月19日～9月2日(土・日は除く)  
午前9時30分～午後4時30分
  - 会場 三条文化財整理事務所(三条町39-20三条分室3階)
  - 内容 会下山遺跡など、市内の弥生時代の遺跡より出土した土器や石器等を展示
  - 問い合わせ 生涯学習課(☎38-2115)



国指定史跡会下山遺跡

今から約2000年前の弥生時代の高地性集落である会下山遺跡(三条町)は、発掘調査が開始されて今年で60周年、国史跡指定から5周年を迎えます。発掘調査は昭和31～36年に実施しました。この調査は、本市が発掘調査を実施しはじめたころのものであり、さらに阪神間でも先駆けとなる調査でした。この発掘調査には、山手小学校の教員や生徒も数多く参加し、郷土の歴史を自らの手で掘り起こしたのは意義深いことです。

調査の結果、稲作を<sup>なわい</sup>生業とする弥生時代に、米作りに不便な山の上に集落があったことが明らかになりました。この調査成果は画期的なもので、社会科や日本史の教科書をはじめ、多くの歴史書に取り上げられています。

このように、弥生時代の高地性集落の存在を明らかにしたことで全国的に有名な会下山遺跡ですが、ちょうど10年前の平成18年には、発掘調査開始50周年を記念して、6月にルナ・ホールで歴史フォーラムを開催しました。その際には、全国から参加申し込みが殺到し、当日も満席で立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。これを機に国史跡指定への気運が高まり、平成19～21年度に国史跡を目指して遺跡の範囲確認調査を実施しました。その結果、会下山遺跡が、昭和50年代までに考え

られた山の中の小規模な集落ではなく、会下山全体に広がる大集落であったことが明らかとなりました。この再調査の結果が評価され、平成23年2月7日に国史跡に指定されました。

この60年の間、考古学の調査・研究は着実に進み、弥生時代に稲作に不便な山の上に集落が営まれた謎について、いろいろな説が考えられてきましたが、いまだ分からないことばかりです。高地性集落の年代や性格をめぐる問題は<sup>ひやかさずめい</sup>百家争鳴となり、解明すべきことが山積みです。

そこでこのたび、会下山遺跡の発掘開始60周年、国史跡指定5周年を記念して、8月20日(土)にルナ・ホールでシンポジウム「会下山遺跡と高地性集落の謎ー弥生人はなぜ山の上に住んだのかー」を開催し、考古学者たちが高地性集落の謎に挑戦します。皆さんぜひ、ご参加ください。(申し込み方法は市ホームページをご参照ください)

芦屋タイムトラベル 問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115

## こちら消費生活センターです 光回線サービスの乗り換えトラブル

問い合わせ 消費生活センター ☎38・2034

平成27年2月から、さまざまな事業者がNTT東日本・西日本(以下NTT)の光回線を使った通信サービスを提供できるようになりました。各事業者は、さまざまなサービスを組み合わせて販売することが多く、契約内容が多様で複雑になってきているため、トラブルも増えています。

### 【相談事例】

◆株式会社A 「〇〇〇(大手電話会社の名前の)光回線サービスをご利用のかたにご連絡しています。株式会社AのBと申しますが、光回線の新サービスのご案内です。ご契約いただきますと、利用料が今より安くなります。いかがでしょうか。」

相談者は、大手電話会社の名前が出たので、すっかり長年契約しているところだと思っ

て契約することにしました。

◆株式会社A 「ありがとうございます。それでは、契約に必要な転用承諾番号を取

得してお教えいただけますでしょうか。」

相談者は、言われるままに転用承諾番号をインターネットで取得し、伝えた。しかし、後日届いた契約書面を見たところ、差出人は株式会社Aとなっていて、長年契約していた大手電話会社とは関係ないことに初めて気が付いた。「相手が株式会社Aなら契約しなかつたのに……」と消費生活センターに相談した。

### 【アドバイス】

勧誘を受けたら必ず事業者名やサービス名等を確認しましょう。またNTTから転用承諾番号を取得し、他の事業者に乗り換えた場合、NTTとの契約はなくなり、再びNTTとの契約に戻る場合は、新たな契約となるため電話番号が変わります。安くなる」と勧誘されても、まずは現在の契約内容との比較検討が必要です。また現在の契約を解約すると解約料が発生する場合もあることを忘れなく。

## 国指定史跡会下山遺跡の発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念事業 こども体験イベント・えげのやま博士になろう!

夏休みの自由研究として、学芸員と一緒に会下山遺跡を研究してみませんか?参加者には「えげのやま博士」の認定証をプレゼント!

- 日時 8月25日(木)午前9時30分～正午
- 会場 三条文化財整理事務所(三条町39-20三条分室3階)・国指定史跡会下山遺跡(三条町258番)
- 内容 上記会場にて、遺跡や土器などの出土品を観察・研究
- 対象 小学校高学年(5・6年生)20人
- 講師 生涯学習課学芸員
- 申し込み 往復はがきに住所・参加人数(はがき1枚につき3人まで。同伴の保護者は参加人数に含まれません)・参加者および保護者の氏名(ふりがな)・性別・生年月日・電話番号を記入し、8月1日(月)〈必着〉までに下記へ※応募者多数の場合は抽選。抽選の結果は返信でお知らせします。
- 問い合わせ 生涯学習課(☎38-2115)



会下山遺跡出土の土器

## 今から約2000年前(弥生時代) 国指定史跡会下山遺跡の 発掘調査から60年 8月20日に記念シンポジウムを開催します

今から約2000年前の弥生時代の高地性集落である会下山遺跡(三条町)は、発掘調査が開始されて今年で60周年、国史跡指定から5周年を迎えます。発掘調査は昭和31～36年に実施しました。この調査は、本市が発掘調査を実施しはじめたころのものであり、さらに阪神間でも先駆けとなる調査でした。この発掘調査には、山手小学校の教員や生徒も数多く参加し、郷土の歴史を自らの手で掘り起こしたのは意義深いことです。

調査の結果、稲作を<sup>なわい</sup>生業とする弥生時代に、米作りに不便な山の上に集落があったことが明らかになりました。この調査成果は画期的なもので、社会科や日本史の教科書をはじめ、多くの歴史書に取り上げられています。

このように、弥生時代の高地性集落の存在を明らかにしたことで全国的に有名な会下山遺跡ですが、ちょうど10年前の平成18年には、発掘調査開始50周年を記念して、6月にルナ・ホールで歴史フォーラムを開催しました。その際には、全国から参加申し込みが殺到し、当日も満席で立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。これを機に国史跡指定への気運が高まり、平成19～21年度に国史跡を目指して遺跡の範囲確認調査を実施しました。その結果、会下山遺跡が、昭和50年代までに考え